

2026年10月13日
公益財団法人イオン環境財団

「第1期 イオン環境市民大学」2026年9月開校

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役会長 以下、当財団)は、9月11日(金)に「イオン環境市民大学(以下 当大学)」の開校式を開催し、講義を開始しました。

当大学は、東京大学未来ビジョン研究センター(センター長 教授 福士謙介 以下 当センター)の協力のもと、環境課題について自ら考え主体的に行動できる環境人材を育成することを目的としています。当財団と東京大学は、2017年より5年間「イオン未来の地球フォーラム」を開催し、地球の環境変化に伴う自然と人間社会における問題について、のべ38名の専門家が登壇し、約3,800名が出席するオープンディカッションを実施してきました。

今回、当大学の受講生は、1年間環境学の専門家による講義と、企業地域と連動した実践的な学びを通じて持続可能な社会の実現に貢献する力を養います。

開校式では、千葉市 橋本直明副市長より、「講義を通じて得られた知識や経験が未来の地域づくり、そして次代へ引き継ぐ豊かな環境づくりにつながることを期待します。」とのメッセージをいただきました。

当財団は、大学をはじめとしたさまざまな専門機関などと連携し、環境領域で活躍する環境人材育成のプログラムを構築し、学びの場を提供してまいります。

【講義名】 第1期 イオン環境市民大学

【期間】 2026年9月～2027年8月

【講義内容】 (敬称略)

開催月	テーマ及び講師
2026年10月	「日本におけるメガソーラーと生物多様性」 東京大学大学院教授 橋本 禅
11月	「イオンの企業活動と社会貢献活動」 イオン株式会社執行役 岡田尚也
12月	「SDGsの経験からBeyond SDGsへ」 慶應義塾大学大学院教授 蟹江 憲史
2027年 2月	「イオンSATOYAMAフォーラム」への参加
3月	「社会を支える水システム」 東京大学大学院教授 小熊 久美子
5月	「日本の人口の将来シナリオ」 東京大学大学院教授 梅崎 昌裕
6月	「地球水循環と気候」 東京大学教授 芳村 圭
7月	「気候変動と人の行動」 東京大学大学院准教授 栗栖 聖
8月	「成果発表会」

【受講生】 約50名

【会場】 イオンタワー(千葉市美浜区)他

<9月11日開校式>



ご参考

【東京大学未来ビジョン研究センター】

2019年に設立された東京大学の研究センターで、卓越した学術知と多様な社会のステークホルダーとの協働を通じて、持続可能な未来社会の創造に貢献することを目的としています。地球環境ガバナンス、コミュニティ協創、イノベーション・ガバナンスなど幅広い分野で学際的研究を推進するとともに、政策提言や社会提言、人材育成にも取り組んでいます。また、未来社会に関する大学の知見を結集する国際ネットワークのハブとして、産官学民との協創を推進しています。当財団は同研究センターと、自然と調和した健全な人間社会の構築と地域の経済再生を目指し2022年に「東大里山ラボ」を設立し活動しています。

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと岡田卓也（当財団名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境に特化した民間企業単独の財団法人として1990年に設立されました。現在は「植樹」「助成」「環境教育同研究」「顕彰」の4つの事業を中心に活動しています。

■「植樹」事業

万里の長城での100万本を含め、国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を継続実施しています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は、1991年から累計約1,287万本（2026年2月末時点）を越えています。

■「助成」事業

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額1億円の助成を行っています。2025年までの35年間で累計3,657団体、助成金額は32億9,235万円となりました。

■「環境教育・共同研究」事業

国際的な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを構築し学びの場を提供しています。大学連携では、京都大学・千葉大学・東京大学・東北大学・早稲田大学と、地域が求める里山づくりを推進しています。国連大学とはグローバルで活躍する環境リーダーを育成するプログラムを実施しています。

各大学と連携したSATOYAMA（里山）の再生・保全・利活用の取組みでは、2024年から「イオンSATOYAMAフォーラム」を開催しており、自治体、大学、地域で活動する団体など多様なステークホルダーからの提言・意見交換を行っています。



第3回イオンSATOYAMAフォーラム